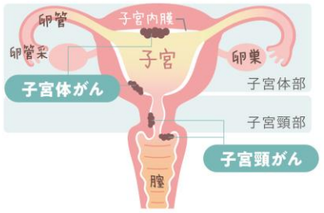
Pickup

子宮頸がん 40代の罹患率が最も高くなっています

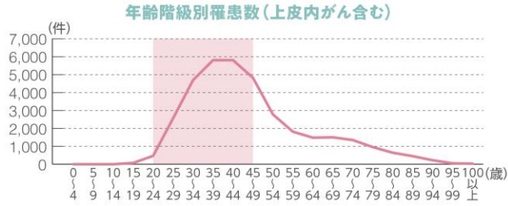
子宮がんには子宮頸がんと子宮体がんがあります。子宮頸がんは子宮の入り口の頸部にできるがんのことです。子宮頸がんの多くが、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因であることが分かってきています。子宮頸がんの罹患率は近年、20代後半から高まっており、若年層で増加傾向にあります。子宮頸がんは早期に見つかれば、比較的治療しやすいがんなので、早期発見に努めることが大切です。

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「子宮頸がんについて」「子宮頸がん予防・検診」

子宮頸がん検診も
定期的に
受診
しましょう



年齢階級別罹患数（上皮内がん含む）



出典：国立がん研究センター　がん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）より作成



検診の流れ

乳がん検診

指定された日時で検診を受診
※日程変更も可能です。
↓
問診
↓
マンモグラフィ・超音波（エコー）
↓
乳がんの疑いあり → 要精密検査 → 精密検査 → 乳がん → 治療
乳がんの疑いなし → 精密検査不要 → 1年後検診
精密検査 → 乳がんなし → 1年後検診

子宮頸がん検診

受診する病院を選ぶ
※予約が必要な病院があります。
↓
問診
↓
子宮頸部の内診・細胞診
※医師の指示があった場合のみ子宮体部の検診を実施。
↓
子宮頸がんや前がん病変の疑いあり → 要精密検査 → 精密検査 → 子宮頸がん → 治療
精密検査 → 前がん病変 → 定期的な精密検査で観察
子宮頸がんの疑いなし → 精密検査不要 → 1年後検診
精密検査 → 子宮頸がんなし → 1年後検診

※記事監修：（公財）日本生命済生会日本生命病院

日本生命保険相互会社
盛岡支社

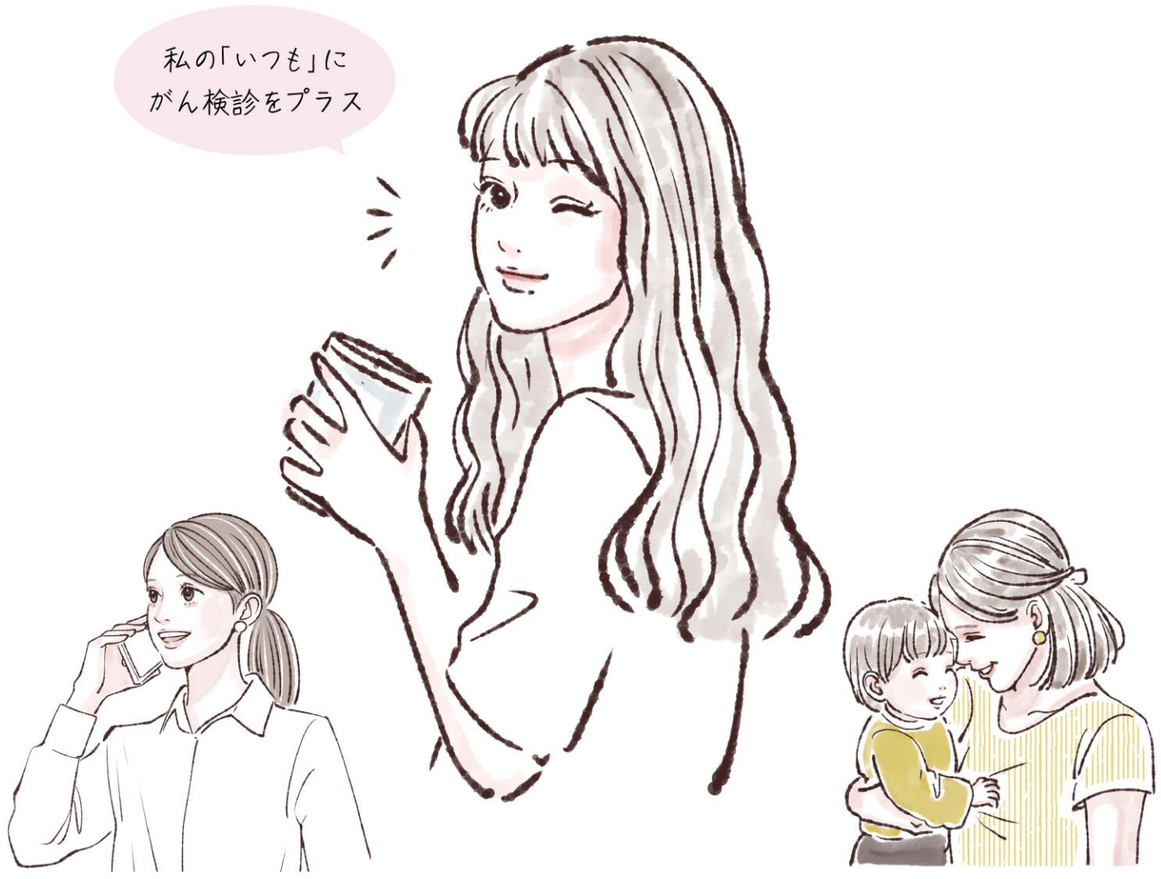
（005-26-171）（2026-104G,安心の多面体企画部）

岩手県

日本生命は岩手県と包括連携協定を締結し、
地域に根差した取組を進めています。

定期的な「女性特有のがん」検診を 乳がん 子宮頸がん

乳がん検診を受けましょう



乳がんの罹患率は40代からぐんと高まってきます。

早期発見・早期治療で治癒しやすいがんですので、定期的な検診が大切です。

日本生命保険相互会社

私は大丈夫と
思わないで！

詳しくは中ページへ

乳がん　定期的な「女性特有のがん」検診を

日本人女性の9人に1人[*1]が乳がんにかかると言われています。



● 年齢階級別罹患リスク（2020年罹患・死亡データに基づく）乳房（女性）

	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	生涯
2020年	0.5%	2.4%	4.4%	6.7%	8.8%	10.6%

（公財）がん研究振興団体「がんの統計'14-がんの統計2025」累積がん・死亡リスク

乳がんは女性が一番かかりやすいがんです。[*2]

＊1　国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）
＊2　乳がんは男性がかかる場合もあります。

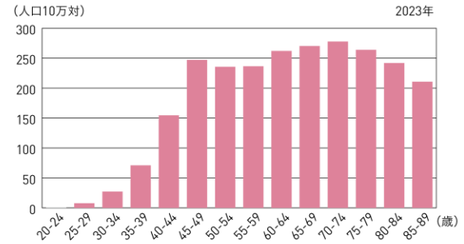
Point 1.

乳がんは40～60歳女性のがん罹患数ナンバーワン

日本では、女性の部位別がん罹患数は乳がんが一番多く[*1]、さらに年間1万5千人以上の女性が乳がんで亡くなっています。[*2]
40～60代はとくに乳がんになりやすい年齢です。

＊1　国立がん研究センター　がん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）
＊2　国立がん研究センター　がん情報サービス（厚生労働省人口動態統計）

乳がんになった人の割合（全国・女性）



出典：国立がん研究センター　がん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）

Point 2.

乳がんは早期発見がカギ

乳がんは早期に発見して治療すれば約99％が治癒します。他にも多くの利点があり、乳房温存治療が可能になる、治療期間が短くて済む、治療費が少なくて済む、など治療後もQOL（生活の質）を下げずに生活することが可能です。早期発見ができれば、乳がんは決して怖い病気ではありません。
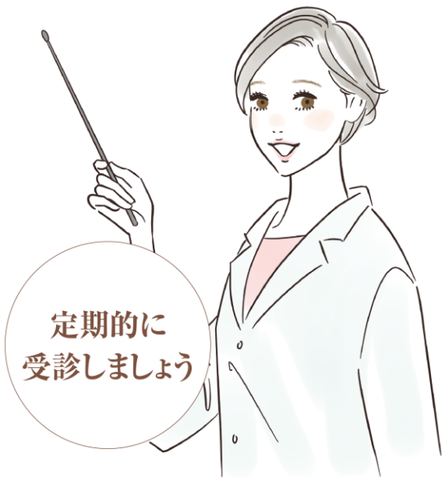


出典：国立がん研究センター　がん情報サービス「院内がん登録生存率集計」

実は…

自己触診では見つからないケースも…

早期の乳がんは症状がほとんどなく、自己触診で気づくのは難しいため早期発見のためには自覚症状がなくても、マンモグラフィなどの画像診断を含めた定期的な検診を受診していただくことがとても重要です。

早期発見で
約99%が生存



Breast Awareness

ブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）へ

ブレスト・アウェアネスは、乳房を意識する生活習慣です。具体的には、日ごろの生活の中で次の４つを行いましょう。

1 状態を知る
普段から乳房をチェックして、バスタイムや着替え時など日常的にチェックしましょう。

2 変化に気をつける
変化が現れた際にすぐ気がつけるようどんな異常があるかを覚えておきましょう。

3 医師へ相談
変化を感じたら検診を待たず、すぐ専門の医師に相談してください。

4 乳がん検診を受ける
症状がないうちから定期的に検診を受けることで早期発見が可能になります。

＊バスタイムなど日々のチェックが大切です＊



Checkup method

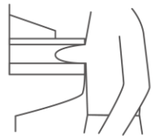
乳がん検診の方法

自治体としては、科学的根拠のあるマンモグラフィを推奨しています。少し痛みの伴う検査ですが、触診では見つけづらい小さながんまで見つけられる検査方法で早期発見に繋がります。助成金などがあり、軽い負担金で受診できるので定期的な検診を受けましょう。

1 問診
問診票に、生理周期などの月経の状況、妊娠や分娩、授乳の経歴、家族でがんになった人がいるかなどを記載していきます。また、診察室で医師からの質問に答えます。



2 マンモグラフィ
乳房を2枚の板で挟み、乳房全体をX線画像撮影します。
病変が見つかりやすいX線画像を撮影するために、乳房を出来るだけ平たくする必要があります。



3 超音波（エコー）



Additional Information

万一、罹患した場合……

治療費だけではなく、思いがけない負担がかかることもあります。

アピアランスケアに伴う費用
・乳房再建術
・ウィッグ（かつら）
・乳がん用下着
・医療用弾性ストッキング など

後遺症に伴う治療費等
・リンパ浮腫
・排尿障がい など

不妊リスクへの備え
・妊孕性（にんようせい）温存療法
・温存後生殖補助医療

がん検診は、正しい方法を正しく行うことで、がんによる死亡リスクの低下が期待できる一方、「エックス線検査による放射線被ばく」等のデメリットがあるとされています。がん検診に対する理解を深め、健康と安心のために適切に利用してください。